

「～きれい大好き、東山小学校～」と放送委員会の子も達が、毎日の清掃時間のときにアナウンスしてくれます。広い学校を、1年生から6年生までが一生懸命掃除しています。梅雨の時期になりますが、体調を崩さず元気に学校生活を送れるよう、ご家庭でも規則正しい生活をお願いします。

あいさつする子
しっかり学ぶ子
たのしく遊ぶ子

○豊かな心を育みます

＝委員会活動・クラブ活動始まる＝

4・5・6年生は、5月13日に第1回児童委員会を行いました。委員会活動が始まり、火曜日の全校集会での司会や、清掃時間のアナウンスなどを高学年の委員が主体的に取り組んでいます。「自分たちの学校をよくしたい」と思う活動は、子ども達の自主性を育み、低学年から見て、憧れとなる高学年となります。学校が楽しくなる企画をどんどん立ててくれることを期待しています。

また、5月20日には、第1回目のクラブ活動が行われました。4・5・6年生が学年の枠を超えて、楽しそうに活動していました。



どんな料理があるのかな？

大きな声で司会をするぞ！



○開かれた学校づくり

学校ボランティア募集

(読み聞かせボランティア募集)

5月17日(月)に3・4年生が、貝塚市リコーダークラブの方に、リコーダーの演奏のしかたを教えていただきました。様々なリコーダーを目の前に、子ども達は、目を輝かせて指導を受けていました。

また、河崎リハビリテーション大学の学生さんが、あおぞら学級中心に学習支援をしてくださっています。

保護者並びに地域の方々に、学校教育活動に関わっていただくことは、子ども達にとって多くの大人とふれあう機会となり、大変ありがたいです。

現在、子ども達に読み聞かせをしてくださる方を募集しています。ご協力いただける方は、担任までご連絡願います。今後、様々な学校ボランティアを募集する予定ですので、ご支援お願いいたします。



ありがとう文庫

◇読まなくなった本を譲ってください◇

図書室での学習が始まりました。今年度の学校図書の新購入もどんどん進めながら、今後、貸し出しも始まります。

しかし、まだまだ、図書室の本棚に余裕があります。そこで、ご家庭で読まなくなった本があれば、譲っていただけませんか。学校図書とは別に「ありがとう文庫」の本棚を設定し、子ども達が自由に借りることができる本としたいと考えています。ご協力よろしくお願いたします。

○教職員の資質向上

特別支援教育研修会

特別支援教育の理念の1つは、「障がいの有無やその他の個々の違いを認識しつつ、様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成と基盤となるもの」です。(文部科学省通知より)

5月19日(水)に校内研修会を持ち、貝塚市特別支援教育リーディングスタッフの遠藤悠先生から、「静か・単純・明確など発達障がいの子どもにとって、なくてはならない学習環境は、結果的には誰にでもわかりやすい学習環境である」ことや子ども達が出している「困ったサイン」を見逃さない行動観察の方法を聞かせていただきました。

どの子にも特性や傾向があります。我々大人でも同じです。本校では、教室と一緒に学習したり生活したりする子ども達一人一人の特性や傾向を正しくとらえて、それぞれに適した対応ができるよう努めています。

本校の特別支援教育コーディネーターはあおぞら学級担任の秦です。何か特別支援教育のことでご相談があれば、気軽にご連絡ください。

一般的な困難さ (どの子にもある特性や傾向)

学習面	行動面	社会性
全能力 ・長期、短期等記憶力 聴覚処理 ・聴力、雑音下での選択、聞いたことを覚える 視覚処理 ・視力、視野狭窄、見たことを覚える 空間認知 ・上下左右の認知 手と目の協応 ・イメージ通りに動かす 習得語彙 ・話す聞くための言葉	注意集中 ・不注意、多注意、集中の持続時間 多動衝動 ・体に出る多動 脳内多動 ルールの理解 ・ルールの理解度 習慣化 ・望ましくない行動の習慣化 作業能力 ・読む力、書く力	こだわり ・待つ、我慢する、切り替える コミュニケーション ・意思表示、自己主張、自己決定、見通し、言葉遣い 対人関係 ・パーソナルエリア、言葉足らず

○確かな学力の向上

ICT 支援員・理科支援員の先生とともに学習

情報教育の充実のため、担任とともに ICT 支援員の島村充先生がコンピュータの授業に入っています。専門的な島村先生の指導・助言によって、子ども達のスキルをよりアップさせたいと考えています。

また、6月からは、高学年の理科教育の充実のために、理科支援員の吉田義治先生に毎週金曜日に実験の準備や授業補助をしていただきます。

